

奈良印良品

～キラリと光る 人・もの・知恵～

VOL.7

ならで活躍する人、ならから始まるもの、優れた技術や知恵を紹介しします。

田村社長を囲んで社員の皆さん



24時間戦う企業！

奈良を愛する社長が率いる医薬品製造メーカー。産学官の連携で、奈良県産にこだわった新たな商品開発を進める。

奈良に工場と研究所をおかれて
いるのはなぜですか？

ここには、葛城山系の清らかな水があります。そしてなにより、生まれ育った奈良を、御所を愛しています。県からの呼びかけで、産学官連携*の商品開発もしているんですよ。

*産(企業)・学(大学の研究機関)・官(県の研究所)の各機関が力を合わせることで、県では、奈良の特産品である5つの植物素材(吉野クズ、大和マナ、大和茶など)の機能性や栽培技術を研究し、新たな実用化技術や食品開発をする「地域結集型研究開発プログラム」を実施しています。

産学官の連携でどのような商品を開発しているんですか？



▶全国でも数台しかない800ラインのドリンク充填機。たった1分で800本も生産できる。

1年半かけて開発し、3月に「万葉一茶」というお茶を発売できました。JAならけんや生産農家と一緒に、奈良県産素材にこだわって、大和茶やくずの葉、黒豆など7種類の奈良県産素材と、弊社が機能性について特許を出願

しているマテ茶も配合しています。「大和マナ」を使った青汁も開発中です。

産学官連携事業のメリットは？

奈良の特産品を使っていることで、まず奈良の農業が潤います。また、急増する休耕地を活かすことができます。製品が売れば私達企業も潤います(笑)、それは同時に県の税収アップにつながります。さらに、産学官、農工商が連携することで、同じ目的に向かって奈良県内でみんなが一つにまとまって頑張れます！だから、県民の方にはそういう商品を進んで買っていただきたいですね。

(注) 万葉一茶のお買い求めは…

平城遷都1300年祭開催期間中、平城跡会場の自動販売機やJAブース、JAのカタログ通販「ひのひかり」春夏秋冬などで販売中。

今後の目標をお聞かせください。

あくまでも「健康」にかかわっていきたいと思っています。とても達成できないと思うような数値目標でも、努力を続けていけば、いつか手に届くの



▲主力商品のジキロングZ3000

ではないかと最近思っています。

若者へのメッセージをお願いします。

創造性が豊かであるということは、何よりも大切ですね。そんな若者なら、すぐにでも採用します。また、一人一人が、「自分という会社の経営者だ」という意識を持たなければ、企業はいつか先を見えています。自分会社が発展していくには、自分に投資して、自らを磨いていかなければいけません。

田村薬品工業株式会社奈良工場

所 御所市西寺田50
TEL 0745・66・0381
FAX 0745・66・1079
E www.tamura-p.co.jp

昭和9年医薬品配置販売会社として創業。ドリンク剤から固形剤(錠剤、顆粒剤)まで製造できる総合医薬品製造メーカー。「24時間戦えますか？」のキャッチフレーズで有名な「三共ヘルスケア(株)」の「リゲインシリーズ」は、全て田村薬品が製造している。

◀「社員と一緒にいることが何よりも幸せ」と語る代表取締役社長の田村恵昭さん



万葉一茶を開発した研究開発部次長の田村康平さん

